

施策1 生涯学習・スポーツができる環境づくり

施策の目標	誰もが生涯学習やスポーツに親しめる環境づくりを通じて、一人ひとりの個性や魅力を伸ばし、自己実現を図ります。
施策の概要	・多様なニーズに応え、時代に沿った情報発信や学習・スポーツの機会を提供することで市民が自己実現を図ることができるよう、公民館・図書館・科学館・スポーツ施設がそれぞれの機能を活かして、事業を推進します。

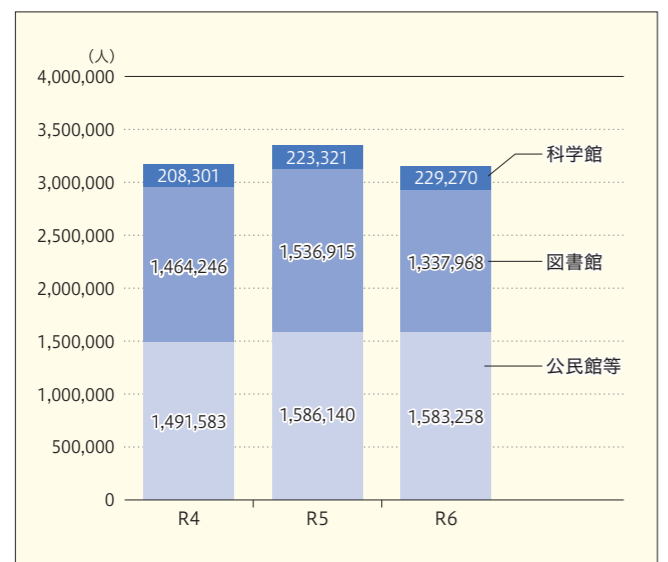
対応する主なSDGsのゴール

目標指標	基準値	中間目標 (R12)	最終目標 (R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	32.9 (R7)	基準値を上回る	R12実績値を上回る
生涯学習施設(公民館等・図書館・科学館)の利用者数 [人]	3,150,496 (R6)	基準値を上回る	R12実績値を上回る
スポーツ施設の利用者数 [人]	1,899,623 (R6)	基準値を上回る	R12実績値を上回る

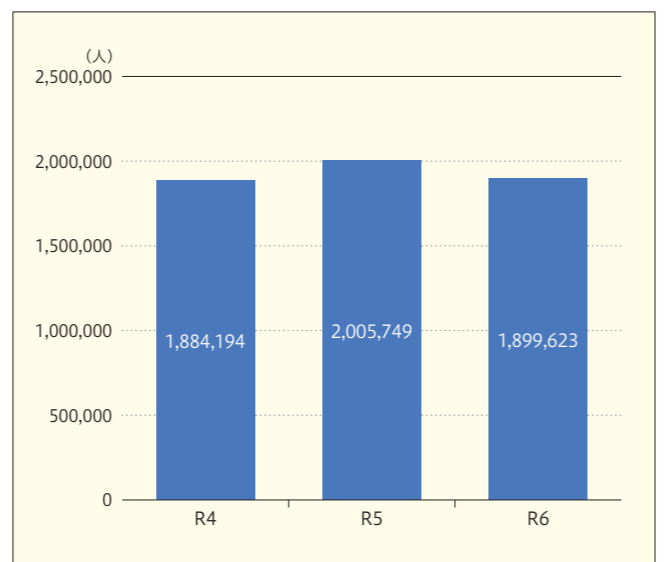
単位施策名	現状・課題	単位施策の目標
① 生涯を通じて学び続けられる環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館等(※)では、多様化する市民ニーズに対応し、利用しやすい施設の維持運営や生涯学習のすそ野を広げるための環境整備のほか、さまざまな学びの推進や、市民が主体的に学び地域に還元できる仕組みづくりを強化する必要があります。 ※公民館、中央ふれあい館、生涯学習プラザ ● 図書館では時代に沿ったさまざまな形態による図書館資料の収集、保存を推進するほか、多様なニーズに応えるための情報発信や情報提供を強化する必要があります。 ● 科学館では、ライフステージの変化や生涯学習のニーズの多様化に合わせて、事業を推進していますが、開館から年数が経過し、施設の経年劣化が進んでいることから、中長期的な設備更新が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館等の環境を整えることで、さまざまな世代が交流しながら学び続け、学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の実現をめざします。 ● 図書館では、誰もがいつでも必要な図書館資料を閲覧でき、図書館からの情報を享受し、サービスを利用できるよう生涯学習環境の充実を図り、市民一人ひとりの自己実現に寄与することをめざします。 ● 科学館では、参加体験型施設としてあらゆる世代が生涯にわたり科学への興味、関心を持ち続けられるよう、科学に親しむ心の育成を図ります。その実現に向けて、時代に即した新たな技術を取り入れた設備の更新を進め、魅力ある科学館をめざします。
② 目的に応じてスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで多くのスポーツ施設を整備・運営し、誰もが身近にスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境づくりに努めるとともに、地域コミュニティの醸成に寄与してきました。 ● 多くのスポーツ施設が開設から40年以上経過しており、持続可能な施設運営に向けた取り組みが必要です。 ● オリンピック、パラリンピックなど注目を集める大会が開催されることにより、スポーツへの関心が高まるとともに、高齢化の進展や働き方及び生活様式の変化により健康意識が高まり、スポーツの重要性が認識されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ施設の充実やスポーツをする機会の提供により、年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、誰もが健康増進や体力向上、競技力向上など、それぞれの目的に応じてスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、自己実現を図ることをめざします。

主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな学習ニーズを踏まえた利用しやすい公民館等の環境を整備するとともに、オンライン講座の充実など多様な講座を提供することにより、若年層や現役世代も含めた幅広い年齢層の公民館等利用の促進に努めます。 ● 身近な生活に関する課題や市民ニーズに合わせた多種多様な講座などを公民館等において実施するとともに、相互に学び合う場の提供や、地域人材の発掘・活用を進めます。 ● 計画的な図書収集に努め、紙やマイクロフィルムの経年劣化を考慮し、最適な方法での図書館資料の保存に取り組みます。 ● さまざまな形態での情報発信により、レファレンスなどの図書館サービスを利用できる機会を提供します。 ● 世代を超えて科学の楽しさを発見できる企画や講座等を科学館において充実させ、科学の魅力を伝えます。また、学校や地域と連携し、児童生徒の研究・発表の場としての活用を推進します。 ● 科学館施設全体の安全性と質の向上をめざし、計画的かつ包括的な改修を実施します。
<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ団体と連携し、スポーツ教室、スポーツイベント、レクリエーション活動など、運動を経験できる機会を提供します。 ● スポーツ団体への支援を通じ、選手の競技力向上及びスポーツを支える人材の確保・育成を推進します。 ● 計画的な改修により施設の長寿命化や安全性・機能の向上を図るとともに、施設の更新等の際には統合・再編などを含めた施設の適正化に取り組みます。 ● 埼玉県屋内50m水泳場の整備に合わせた北スポーツセンターの建替えを含む、(仮称)神根総合運動公園の整備を進め、新たなスポーツ及び交流の拠点として活用します。

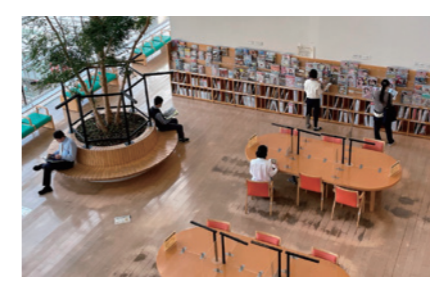
■生涯学習施設(公民館等・図書館・科学館)の利用者数の推移



■スポーツ施設の利用者数の推移



公民館園芸講座



中央図書館雑誌コーナー



科学館サイエンスショー



川口マラソン大会

- 関連する個別計画
- 川口市教育大綱
 - 川口市教育振興基本計画
 - 川口市子ども読書活動推進計画

施策2 歴史の継承と文化芸術の発信

施策の目標	指定文化財をはじめとした歴史的資源の保存と活用や、誰もが身近に文化芸術に接し活動する環境づくりを行うことで、歴史、文化、芸術をすべての人が学び、楽しみ、心豊かな生活が実現できるまちをめざします。
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> 歴史を伝える大切な文化財を調査・収集・保存し、また、その魅力を広く発信します。 障害の有無、経済的状況、年齢や性別、国籍などにかかわらず、地域の主役である市民一人ひとりが文化芸術に触れ、自己実現をめざせる環境づくりを行います。

対応する主なSDGsのゴール

目標指標	基準値	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	28.7(R7)	基準値を上回る	R12実績値を上回る
文化財センター及び分館の入館者数 [人]	53,714(R6)	55,000	57,000
総合文化センター及び川口市立美術館の総来場者数 [人]	436,065(R5)	770,000	808,500

単位施策名	現状・課題	単位施策の目標
① 歴史的資源の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保存・継承については、社会情勢の変化による所有者の負担増や少子高齢化による影響など、さまざまな課題があるため、支援のための多様な取り組みが求められています。 文化財の展示やイベントを通じた魅力発信が重要になる中、展示施設や収蔵施設は老朽化が進んでおり、安全な利用のために施設の更新など、対応が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内に有する有形文化財の収集・保存、無形文化財の継承に係る支援などを行うことで後世に伝えるとともに、その魅力を広く発信することで、市民の文化財保護意識の高揚と、地元川口の歴史や文化への親しみと関心を深めます。
② 文化芸術拠点の活用	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の鑑賞、活動、発表、参加などの場として、本市では文化施設が大きな役割を担っています。そのため、川口総合文化センター・リリアや川口市立美術館を含めた、川口駅西口周辺を文化芸術の創造発信拠点として位置付けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 川口駅周辺の回遊性や利便性が向上し、川口の玄関口として、ますますにぎわいや活気あふれるまちとなることをめざします。 美術館では、本市や埼玉県ゆかりの作品、市内の作家による展示はもとより、さまざまなジャンルの展示を通じて、未来を担う人材の創造性を養うなど、本市の文化芸術のさらなる発展を図ります。
③ 文化芸術活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> 急速な高齢化や高度な情報化の進展などの環境変化により、文化芸術活動を行う団体においても高齢化・会員数の減少がみられ、人材不足が顕著になっています。安定的な芸術活動が行えるように、団体への金銭的な支援だけでなく、活躍の場の提供や人材の発掘、育成に対する支援が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的な文化芸術活動の支援を通して、文化芸術の振興を図り、文化力の向上や発展に寄与します。また、文化芸術団体等に若い世代が参入しやすい環境をつくることで、既存の団体がより活性化し、意欲的に文化活動に取り組むことを図ります。 コンサートの開催などを通して、アーティストに活躍の場を提供するとともに、多くの市民が身近なものとして音楽に触れて楽しむことをめざします。

主な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 文化財や歴史的資料などの調査・収集・保存・保護を行います。 文化財センター(郷土資料館、歴史自然資料館)における企画展やイベントなどを通じて、文化財の活用を図り、魅力を発信します。 展示・保管施設の老朽化と収容力不足に対応するため、既存施設の更新に向けた調査を進めます。 市の文化財の保存と活用を推進するため、文化財保存活用地域計画の策定について研究を進めます。
<ul style="list-style-type: none"> 川口駅西口周辺が文化芸術の創造発信拠点として整備され、施設のインクルーシブな運営を進めることで、あらゆる世代・属性の人々が文化芸術に親しみ、触れる機会を提供します。 国の新しい文化芸術推進基本計画の考え方、地域課題解決の方向性、施設の立地特性、施設間の効果的な連携等を踏まえ、これまでの文化芸術施設の固定概念にとらわれない柔軟な発想を持って施設展開を行います。
<ul style="list-style-type: none"> 市の文化芸術の振興と発展に資する事業へ助成金を交付し、活動を支援します。 本市ゆかりのアーティストが活躍できる場を設け、市民に多様なジャンルの音楽を鑑賞する機会を提供します。



川口総合文化センター・リリア



川口市立美術館



文化財センター「郷土資料館」

■関連する個別計画

- 川口市教育大綱
- 川口市教育振興基本計画
- 川口市文化芸術基本計画